

8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6 7 8 9

二十八年

三月青島より黒田中へ行つた官船に大光洋行
局長佐藤多助が乗つて了。淡路島に在りて
六朝鮮に對して土地割讓の條件を三ヶ條に
已に承諾せしめ、我黨の同意を得、我三十日
西國兵、牽制せしむる者上海より電報あり
松方外相御氣を以て決然島に向つて
は、我黨の意向を以て事を知り、ヒトクセが土
地を以て之を改め、先づ及を善く
シカラ大向ふが所なり

二十八年

其の要諦を本邦より形勢
高、予副土時黒田通信大臣御より電報あり



早稲田大学図書館
文書27
B 65

行記等々抄の巻の始りなり

九月二十日 思案を仍談

松方と大藏大臣の対年、自身も樞密院議長
を任じ、その中、由内政に注力し、そのは、戦後、徳
海を初め、外に、其の第一、所望、方北、その、
清、その、且、山、標、大山、不在、中、修、軍、産、と、
任、其、は、は、時、和、前、産、四、理、被、擧、め、出、廷、し、
試、之、可、比、中、に、仰、松、方、は、其、良、に、應、ず、や、否、を
以、て、其、の、方、案、の、父、子、の、る、に、交、し、暗、號、電、信
を、し、り、以、て、息、藏、を、病、死、致、し、伯、に、動、靜、を、探

りし、其、影、の、指、の、み、お、多、く、出、海、し、其、を、其、の、
あり、抑、止、せ、り、就、ち、十、四、日、出、發、し、十、七、日、伊、豆、島、に
到着、せ、り、松、方、は、海、防、新、制、の、日、度、自、身、を、着、目、に、
し、り、抑、止、せ、り、松、方、は、
大臣、海、軍、大臣、の、通、信、大、臣、に、任、じ、自、身、も、樞、密、
院、議、長、の、役、任、じ、り、于、時、昨、年、来、西、郷、大、山、等、に
有、り、松、方、の、勸、告、に、
断、乎、と、い、ふ、
て、其、職、を、
屋、銀、の、
出、仕、に、
は、一、消、息、も、松、方、に、拜、命、不、受、首、鼠、南、端、に、
あり、

は一消息も松方に拜命不受首鼠南端に

きり何本
さくし
事いん
経神

二張年十一月一日

松方

しし金剛副徳さふさし初う法判りて幾許を
形地を返還すべしと法判しぬる言初を秘の
大に金を銭を擲取るべし此論は深く感念

十日
九日
八日
七日
六日
五日
四日
三日
二日

二人

火

万吉

切大磯土

日

榎木 火

文丸 木

新嘗土

榎木

廿八年十月十日白川親王在葬式 伊孫経理會葬

十一日 伊孫経理大磯之道進白田家伊孫已以日光

十二日 芳川榎本 黒田完前 芳川路 榎本路 若夜

十三日 芳川路 榎本路 若夜

十四日 榎本路 若夜

十五日 榎本路 若夜

十六日 榎本路 若夜

十七日 榎本路 若夜

十八日 榎本路 若夜

十九日 榎本路 若夜

廿日 榎本路 若夜

廿一日 榎本路 若夜

廿二日 榎本路 若夜

廿三日 榎本路 若夜

廿八日

榎木

榎木

榎木

榎木

榎木

榎木

日

土

廿四日 川村任右衛門 榎本路 若夜

廿五日 榎本路 若夜

廿六日 榎本路 若夜

廿七日 榎本路 若夜

廿八日 榎本路 若夜

廿九日 榎本路 若夜

三十日 榎本路 若夜

三十一日 榎本路 若夜

四日 榎本路 若夜

五日 榎本路 若夜

六日 榎本路 若夜

七日 榎本路 若夜

八日 榎本路 若夜

九日 榎本路 若夜

十日 榎本路 若夜

十一日 榎本路 若夜

十二日 榎本路 若夜

十三日 榎本路 若夜

川上入札 榎本路 若夜

二十八年 八月 廿六日

二月廿六日	二月廿七日	二月廿八日	二月廿九日
三月一日	三月二日	三月三日	三月四日
三月五日	三月六日	三月七日	三月八日
三月九日	三月十日	三月十一日	三月十二日

三月廿八日

二十八年

二十八年

十九日	二十日	二十一日	二十二日	二十三日	二十四日	二十五日	二十六日	二十七日	二十八日	二十九日	三十日
高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所
高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所	高橋本所

高橋本所

高橋本所

高橋本所

高橋本所

高橋本所

高橋本所

高橋本所

高橋本所

高橋本所

高橋本所

三月十四日	土日	三月九日	三月七日
午前六時 黒田伯廣島出發 李鴻章及天津			
十日	十一日	十二日	十三日
		晚方と連田と訪探 松本大蔵等訪長 佐州大蔵等訪長 中別	
十五日			
清遠西村 宿河 移 松本 吉野 中野 宿河 宿河 宿河 宿河 宿河 宿河 宿河 宿河 宿河 宿河 宿河			

十六日	十八日	二十日	二十二日
		黒田村と殺り吊り	此夜自留竹流之根 清勘所 黒田村と殺り吊り
十七日	十九日	二十日	二十一日
黒田村と殺り吊り 長島と殺り吊り	此日黒田村と殺り吊り 着の巻と殺り吊り 馬岡伊知と殺り吊り の巻と殺り吊り 大島と殺り吊り	上野と殺り吊り 井上と殺り吊り 長島と殺り吊り	訪黒田所半右衛門 李鴻章と殺り吊り 黒田村と殺り吊り 國田と殺り吊り
二十一日			

年八

二十日	二十日	十日	十日
二十日	二十日	十日	十日
二十日	二十日	十日	十日
二十日	二十日	十日	十日

修史館

伊集院為光
 松村松茂也
 永山昌郎
 二時至歸り
 直、修史館、地、暮頃
 白、多、四、五、リ
 被、徒、一、五、分、也
 又、多、名、又、何、也
 如、國、不、予、滿、り
 前、取、年、也

二十日	二十日	二十日	二十日
二十日	二十日	二十日	二十日
二十日	二十日	二十日	二十日
二十日	二十日	二十日	二十日

修史館

二十日 黒田四郎三十分出发
 慶島行
 水田園田の湯
 二十日 三十日 三十一日
 休戦、
 運了
 状、
 四日一日
 征、
 二十日 二十七日
 伊集院、
 来、
 島、
 伊、
 大、
 好、
 者、
 之、
 流、
 二日 三日 四日 五日
 二十日 二十七日
 伊集院、
 来、
 島、
 伊、
 大、
 好、
 者、
 之、
 流、
 二日 三日 四日 五日
 二十日 二十七日
 伊集院、
 来、
 島、
 伊、
 大、
 好、
 者、
 之、
 流、
 二日 三日 四日 五日

二十四	桂木之木 南東ヒエヨウ移ス	二十七日	大八天作の木 草花盛
二十三日	映方長治の跡 糶所御守常ノ実 廿七	四月二十七日	午時 草花盛 草花盛
四月二十日	主前 草花盛 四月二十日 美師	四月二十日	午時 草花盛 草花盛
四月二十日	主前 草花盛 四月二十日 美師	四月二十日	午時 草花盛 草花盛

日三四干涉

五月一日	大八 舊勢債 朝持除	大八 草花盛 草花盛	油成 草花盛 草花盛
五月一日	大八 舊勢債 朝持除	大八 草花盛 草花盛	油成 草花盛 草花盛
五月一日	大八 舊勢債 朝持除	大八 草花盛 草花盛	油成 草花盛 草花盛
五月一日	大八 舊勢債 朝持除	大八 草花盛 草花盛	油成 草花盛 草花盛

一泊

八日

高野山に参りて
木下寺に宿す
午飯御所へ参りて
御所へ参りて
午後

別荘山

市野寺に宿す
高野山に参りて
御所へ参りて
午後

二泊

十日

高野山に参りて
木下寺に宿す
午飯御所へ参りて
御所へ参りて
午後

博徳寺
塔名

高野山に参りて
御所へ参りて
午後

三泊

十一日

高野山に参りて
木下寺に宿す
午飯御所へ参りて
御所へ参りて
午後

末社
向寺

高野山に参りて
御所へ参りて
午後

四泊

十二日

高野山に参りて
木下寺に宿す
午飯御所へ参りて
御所へ参りて
午後

高野山に参りて
御所へ参りて
午後

五泊

十三日

高野山に参りて
木下寺に宿す
午飯御所へ参りて
御所へ参りて
午後

高野山に参りて
御所へ参りて
午後

六泊

十四日

高野山に参りて
木下寺に宿す
午飯御所へ参りて
御所へ参りて
午後

高野山に参りて
御所へ参りて
午後

七泊

十五日

高野山に参りて
木下寺に宿す
午飯御所へ参りて
御所へ参りて
午後

八泊

十六日

高野山に参りて
木下寺に宿す
午飯御所へ参りて
御所へ参りて
午後

高野山に参りて
御所へ参りて
午後

高野山に参りて
御所へ参りて
午後

和書

和書

二十日

和書

二十日

和書

二十日

和書

二十四日

二十日

和書

二十二年

小牧

和書

二十日

小牧

和書

十七日

和書

